

課題名

閉塞性大腸癌における減圧療法に関する多施設共同後ろ向き研究

当院の研究責任者 (所属)	鈴木 慶一 (栃木医療センター外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	栃木県立がんセンター 豊田 尚潔 (栃木県立がんセンター・大腸骨盤外科)
本研究の目的	左側閉塞性大腸癌に対する主な減圧治療である大腸ステントと経肛門イレウス管の治療成績を比較する。
研究期間	許可日～2026年12月31日
研究の方法 (使用する試料等)	●対象患者 2009年から2024年6月までに2施設で集積された原発性左側閉塞性大腸癌に対して大腸ステントまたは経肛門イレウス管を挿入された方 ●利用する情報 年齢、性別、腫瘍部位、深達度、組織型、リンパ節転移、脈管侵襲、腫瘍マーカー、手術術式、ストマの有無、生存期間、無病生存期間、合併症発生、合併症の内容、身長、体重、BMI、手術日、転帰
試料/情報の 他の研究機関への提供	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究への診療情報提供を希望されない方は、下記までご連絡ください。 電話：028-622-5241(代) 担当者：鈴木 慶一 (栃木医療センター 外科)